

事務事業名		ローカル10,000プロジェクト推進事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登録事業							
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目							
	施策名	22 地域経済を支える鉱工業の振興				会計	款	項	目	事業			
	基本事業名	02 新事業の創出		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		01	02	01	06	00			
根拠法令													
所属	部課名	企画政策部企画調整課											
	課長名	新沼徹											
	係名	企画係	電話	27-3111									
	担当者	山口秀樹	内線	230									
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)							
・ローカル10,000プロジェクトは、国(総務省)が推進する地域経済イノベーションサイクルの実現のための中核的な事業であり、創業支援事業計画に基づき、地域の資源及び資金を活用した雇用吸収力の大きい地域密着型事業を10,000事業程度立ち上げることを目標としている。 ・事業立ち上げにあたって、地域経済循環創造事業交付金(上限5,000万円、交付率10/10)による支援があり、その際には、産学官地域ラウンドテーブルを設置し、事業計画を作成して市として申請することになる。事業者の自己資金に加えて、地域金融機関の融資が必要である。 ・交付金の申請に当たって、市内金融機関、岩手大学等と連携して事業者の相談対応や事業計画作成支援を行うもの。						総投入量(千円)	事業費	国庫支出金					
							財源内訳	都道府県支出金					
								地方債					
								その他					
								一般財源					
								事業費計(A)				0	
						人件費	正規職員従事人数						
							延べ業務時間						
							人件費計(B)					0	
							トータルコスト(A)+(B)					0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標														
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 市内金融機関への制度周知、事業者の事業計画作成支援、事業者及び金融機関との打合せ 今年度計画(今年度に計画している主な活動) ※前年度と同様	→	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)												
		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>周知金融機関数</td><td>機関</td></tr> <tr><td>イ</td><td>相談件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	ア	周知金融機関数	機関	イ	相談件数	件	ウ		
		名称		単位										
		ア	周知金融機関数	機関										
イ	相談件数	件												
ウ														
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)														
<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>カ</td><td>事業所数(経済センサス)</td><td>事業所</td></tr> <tr><td>キ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ク</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	カ	事業所数(経済センサス)	事業所	キ			ク				
名称		単位												
カ	事業所数(経済センサス)	事業所												
キ														
ク														
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 地域資源を活用した新たな事業を計画している事業者 ③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 円滑に事業を立ち上げ、雇用を創出してもらう ④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか) 既存企業が新分野に展開する。	→	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)												
		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>サ</td><td>交付決定された事業数</td><td>件</td></tr> <tr><td>シ</td><td>雇用人数</td><td>人</td></tr> <tr><td>ス</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	サ	交付決定された事業数	件	シ	雇用人数	人	ス		
		名称		単位										
		サ	交付決定された事業数	件										
シ	雇用人数	人												
ス														

(2) 総事業費・指標等の推移								
		年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円					
	事業費計(A)		千円	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人					1
		延べ業務時間	時間					60
		人件費計(B)	千円	0	0	0	0	240
		トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	0	0
⑤ 活動指標	ア	機関					5	5
	イ	件					3	3
	ウ							
⑥ 対象指標	カ	事業所					2,254	
	キ							
	ク							
⑦ 成果指標	サ	件					0	1
	シ	人					0	3
	ス							

事務事業ID	1724	事務事業名	ローカル10,000プロジェクト推進事業
--------	------	-------	----------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成24年度から国(総務省)の「地域の元気創造プラン」における中核事業として実施され、東日本大震災以降、地域資源を生かした事業の立ち上げが活発化する中で、新たな支援策として平成26年度から取組を開始したもの。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	従前の外部からの大型工場の誘致といった手法だけでは雇用の創出が非常に難しい中で、東日本大震災によって新たな工場の立地も見られる一方、限界も見えてきた。今後は、地元企業を中心とした地域資源を生かした事業の立ち上げが、雇用創出に必要な状況となってきている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	市内金融機関からは、事業化に向けた支援制度等の情報提供が求められ、事業者支援に連携して取り組みたいとの意見が寄せられている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 地元企業の新事業の立ち上げを支援し、雇用創出を図ることから、政策体系と整合している。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 新たな事業の立ち上げや雇用創出のため、産官学金が連携して事業化を図る仕組みであり、関与は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象は、「地域資源を活用すること」で限定し、地域内の波及効果が見込める設定となっている。また、意図は、円滑な事業の立ち上げと雇用の創出であり、申請事業者以外にも波及効果が見込まれるものである。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 市内金融機関との情報交換の頻度を高めることによって、該当事業者の把握が容易となり、事業の立ち上げ確率が上がるものと考えられる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 東日本大震災の復興から地方創生に向けて、産業振興による雇用の創出は、人口減少に歯止めをかけるためにも必要である。本事業によって事業者のインシヤルコストの負担軽減が図られることで、新たな事業が立ち上がり、雇用創出につながることから、継続して実施すべきものである。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段, 事務事業) 津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金(経済産業省)及び6次産業化ネットワーク活動交付金(農林水産省) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ それぞれ目的や対象者が異なるため、統廃合できないが、申請する事業計画の内容によっては、相互補完的に活用が可能である。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 支出は業務遂行に係る人件費のみである。また、交付金については、交付金上限の範囲内での支出になるので削減はできない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 情報交換や相談活動は、直接又はメール等を介して相互にやり取りする必要があり、業務時間の削減はできない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 本事業は、地域資源を活用する地元企業を対象としており、著しく偏っているものではない。ただし、本交付金は、交付金と同額以上の金融機関から融資を交付要件としており、金融機関による経営診断がなされた案件が申請が可能であることから、対象者は絞られざるを得ない。

事務事業ID	1724	事務事業名	ローカル10,000プロジェクト推進事業
--------	------	-------	----------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 市内金融機関と連携しながら、事業者の相談に対応してきたが、事業計画の熟度が高まっていないことから申請に至らなかった。引き続き、連携しながら熟度を高め、事業化を支援する必要がある。 平成28年度から交付金上限が2,500万円となり、うち市負担が2分の1となることから、事業継続に向けて交付要綱等を定め、一貫した仕組みを構築する必要がある。																	
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可) <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input type="checkbox"/> 目的再設定</td> <td><input type="checkbox"/> 事業統合・連携</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) 市内金融機関との情報交換を定期的に実施し、案件把握に努める。		<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)					(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	成果	コスト			削減	維持	増加	向上		●		維持			×	低下	×		×
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 現状維持																											
事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)																															
成果	コスト																														
	削減	維持	増加																												
向上		●																													
維持			×																												
低下	×		×																												
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 市内金融機関との連携は、地方創生を進めるうえで必須であるとともに、他部署所管の事業も連携対象となることから、関係部署による情報交換の場(庁内連絡会議)を設置する必要がある。																															

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	企画政策部企画調整課長	新沼 徹
-------	-------------	------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																															
(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 関係者による連携を強化しながら、具体案件の掘り起こしに努める必要がある。																	
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可) <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input type="checkbox"/> 目的再設定</td> <td><input type="checkbox"/> 事業統合・連携</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) 庁内における連絡調整会議や市内金融機関との情報交換会を適時適切に開催することにより、相互の情報収集・提供の質を高め、新たな事業化を目指す対象案件を支援する。		<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)					(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	成果	コスト			削減	維持	増加	向上		●		維持			×	低下	×		×
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 現状維持																											
事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)																															
成果	コスト																														
	削減	維持	増加																												
向上		●																													
維持			×																												
低下	×		×																												

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
